

証券コード：6928



第58期

中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日



株主の皆様へ



代表取締役社長

武内 延公

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。第58期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

エノモトグループは1962年の創業以来、コア技術である金型加工を中心に新技術を開発し、社会構造の変化によって激変する最先端の市場の要求に応じて参りました。そして、経営理念である「経営の中心は人であり、健全なものづくりを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という精神のもと、2030年度までの長期経営ビジョン

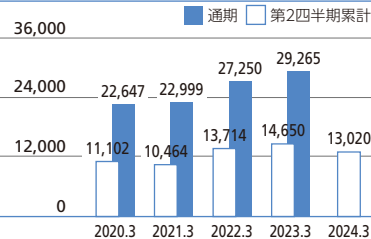
として『金型の技術で未来を創る～より小さくより速く 最先端の技術で暮らしとビジネスのベストパートナーを目指す～』を策定し、これからも日本のものづくりに貢献し続ける決意を新たにしております。

世界は持続的な開発目標（SDGs）という大きなテーマの達成を目指しており、参画は企業活動に

財務ハイライト（連結）

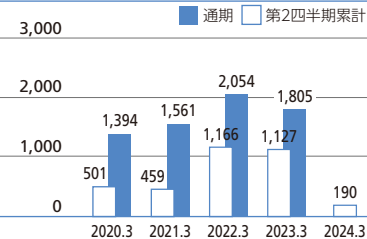
売上高

(単位:百万円)



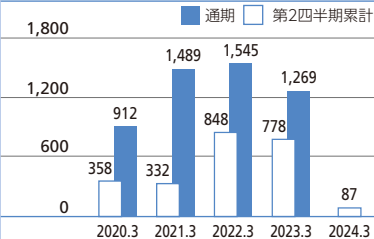
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



おける責務といえます。当社グループは効率的な電力供給に不可欠なパワー半導体や、省エネルギー照明の代表格であるLED（発光ダイオード）の部品となるリードフレームをはじめ、xEV化の進む自動車に欠かせない電装部品、DXを支える最先端のモバイル機器やウェアラブル端末の内部に使用される超精密コネクタ部品など、今後の社会の発展を支えるキーテクノロジーに関わる製品を手掛けることで、その一端を担っていると自負しております。

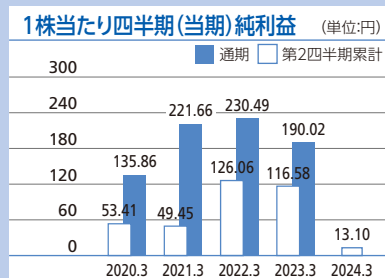
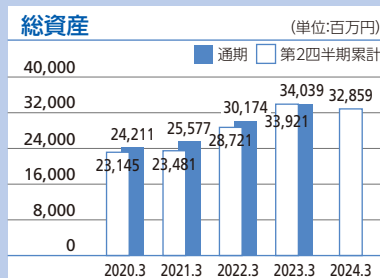
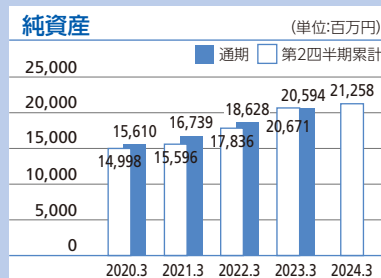
当社グループは、長期経営ビジョン達成のための施策として期間を3段階に分け、2021年度から2023年度の3ケ年を第1段階と位置付けております。その最終年度にあたる2023年度の経営重点テーマとしては『自責』を掲げました。これは直面した問題に対して失敗を含めた事実を真摯に

受け入れ、そこから学んだことは何か、そして次により大きな成功を得るためにすべきことは何かを自問自答し、自ら解決策を考え出すことで自己成長に繋げていくという決意を端的に表したものであります。

当社はグループのコア技術である金型加工の更なる高みを目指すと共に、そこから派生した新規技術を組み合わせ、最先端デバイスの開発と発展に常に寄与する、最も信頼されるビジネスパートナーであり続ける決意でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解と、今後の事業展開に向けた長期的なご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2023年12月



事業別の概況

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米を中心としたインフレの長期化や資源価格の高止まりなどから、不安定感が継続しております。また、中国においては不動産不況の深刻化など景気の減速感が色濃く、内需・外需ともに低迷しました。一方、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢に代表される地政学的なリスクはさらに高まり、サプライチェーンの混乱やさらなる資源価格の高騰、為替相場への影響などが懸念されております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、スマートフォンなどを含む民生用機器や産業用機器を中心とした在庫調整が継続し、回復の時期については期初の情報よりも後倒しされ、当期末から来期を見込んでおります。また、xEV化と電装化が進む自動車向けの需要は、一部で在庫調整の影響による生産の不安定感が残りながらも、比較的堅調に推移しております。

このような状況下、当社グループは世界的な需要拡大局面にあるパワー半導体用リードフレーム及び高度な金属と樹脂の複合加工技術を必要とするマイクロコネクタ用部品の生産技術力と、メッキ工程における技術力や生産能力の強化に特に注力し収益力の向上に努めて参りましたが、当社の参入市場における在庫調整の影響は想定以上に強く、長期間に亘るものとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は130億2千万円(前年同四半期比11.1%減)、営業利益は1億3千7百万円(同85.3%減)、経常利益は1億9千万円(同83.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千7百万円(同88.7%減)となりました。

通期の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、コスト面ではエネルギー価格をはじめとする物価の高騰と賃上げによる人件費の増加、需要面では中国の景気減速の影響を強く受けております。

当社グループのリードフレーム、コネクタ用部品の受注環境は依然として市場の長期的な成長トレンドの中にありますが、足下においては過年度のサプライチェーン混乱に起因する在庫調整が長期化しております。需給正常化の時期は期初の情報よりも後倒しされ、当期末から来期になるものと見込んでおります。当社業績の先行指標となる金型受注は非常に旺盛であり、金型製作部門の支援や量産移行後の生産体制強化が喫緊の課題となっていることから先行費用が発生しており、利益を押し下げる要因となっております。

このような環境下、当社グループは当社の強みである金属と樹脂の精密複合加工技術をベースとして過去の枠組みにとらわれない新たな顧客の開拓を積極的に行い、全社一丸となって収益の更なる向上に努めて参ります。

通期の連結業績予想

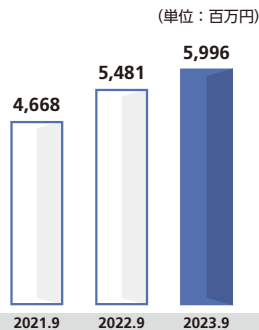
通期の見通しにつきましては2023年10月30日に発表いたしました予想のとおり、売上高250億円(前連結会計年度比14.5%減)、営業利益3億円(同80.7%減)、経常利益3億5千万円(同80.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億5千万円(同80.2%減)を見込んでおります。

売上高	25,000百万円
営業利益	300百万円
経常利益	350百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	250百万円

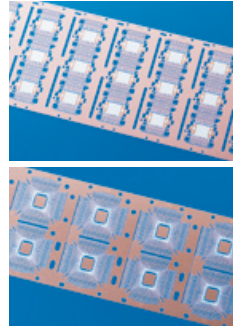
パワー半導体用リードフレーム

売上高 59億9千6百万円 (前年同四半期比9.3%増)

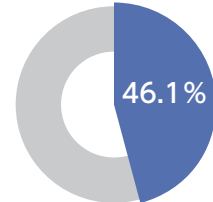
売上高推移



当製品群は自動車向けや産業用機器向け及び民生用機器向けが主なものとなります。自動車向けではx E V化の進行やA D A S技術の発展と普及による追い風を受けましたが、産業用機器向け及び民生用機器向けの在庫調整により成長は鈍化しました。その結果、当製品群の売上高は59億9千6百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。



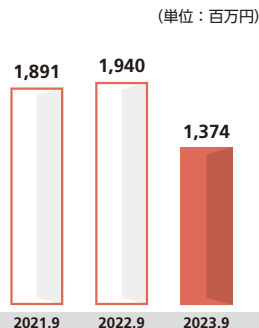
売上高比率



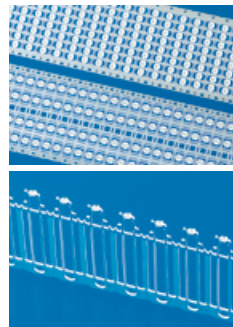
オプト用リードフレーム

売上高 13億7千4百万円 (前年同四半期比29.1%減)

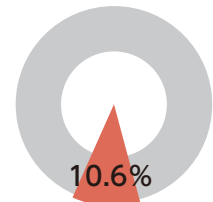
売上高推移



当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。海外の交通インフラ向けや大型ディスプレイ向けなどが在庫調整局面に入ったことにより減少しました。その結果、当製品群の売上高は13億7千4百万円(同29.1%減)となりました。



売上高比率

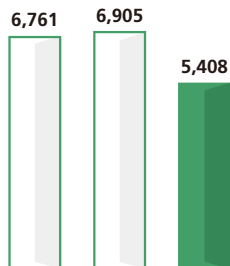


コネクタ用部品

売上高 54億8百万円 (前年同四半期比21.6%減)

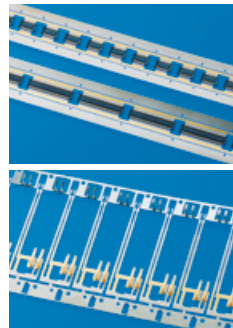
売上高推移

(単位：百万円)

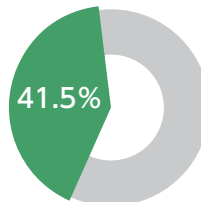


2021.9 2022.9 2023.9

当製品群は、自動車向け、モバイル端末向けが主なものであります。スマートフォン向け及びウェアラブル端末向けの在庫調整が継続しました。その結果、当製品群の売上高は54億8百万円(同21.6%減)となりました。



売上高比率

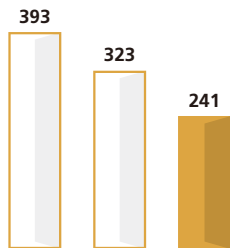


その他

売上高 2億4千1百万円 (前年同四半期比25.3%減)

売上高推移

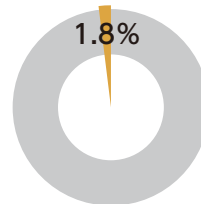
(単位：百万円)



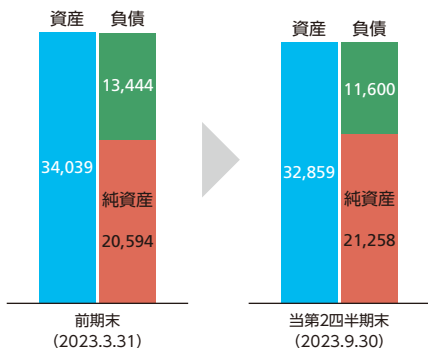
2021.9 2022.9 2023.9

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は2億4千1百万円(同25.3%減)となりました。

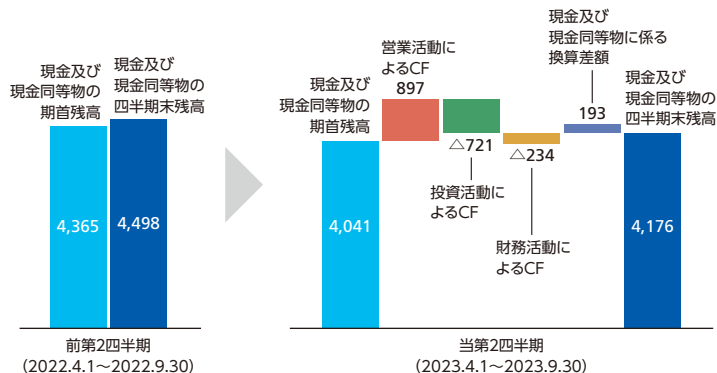
売上高比率



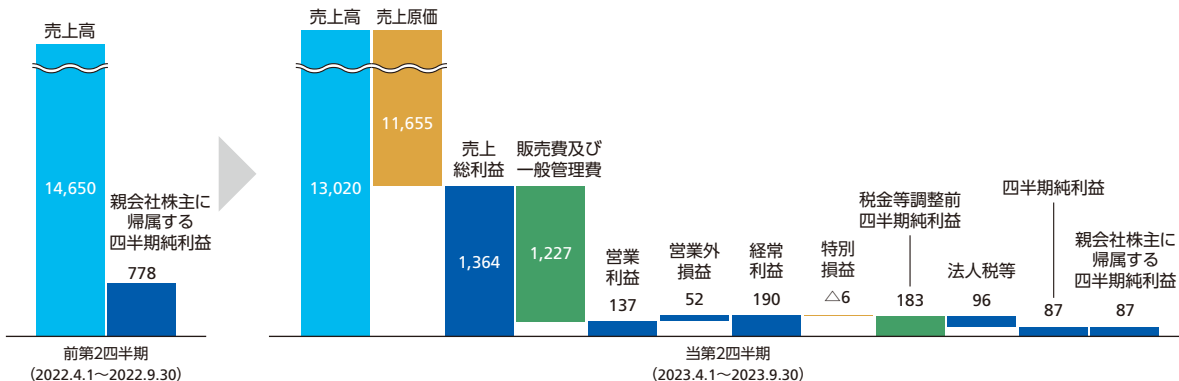
■ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT!

(連結貸借対照表)

当第2四半期連結会計期末の総資産は、前期に比べ11億7千9百万円減少し、328億5千9百万円となりました。流動資産は、売上債権及び棚卸資産が減少したことにより前連結会計年度末に比べ12億5千万円減少の178億円となりました。固定資産は、円安による海外子会社の円換算額増加により前連結会計年度末に比べ7千万円増加の150億5千8百万円となりました。一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億4千3百万円減少し、116億円となりました。これは主に仕入債務の減少によるものです。また、純資産は主に為替換算調整勘定の増加により212億5千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は64.7%となりました。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前第2四半期連結会計期末に比べ3億2千1百万円減少し、当第2四半期連結会計期末には41億7千6百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億9千7百万円(前年同四半期は11億3千7百万円の取得)となりました。これは主に売上債権の減少16億2千9百万円及び減価償却費の計上9億6千8百万円、棚卸資産の減少5億7千8百万円による資金増加、及び仕入債務の減少19億8千5百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億2千1百万円(前年同四半期は12億3千3百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7億6千4百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億3千4百万円(前年同四半期は2億5千5百万円の使用)となりました。これは主に配当金2億4百万円の支払による資金の減少によるものであります。

■株式の状況

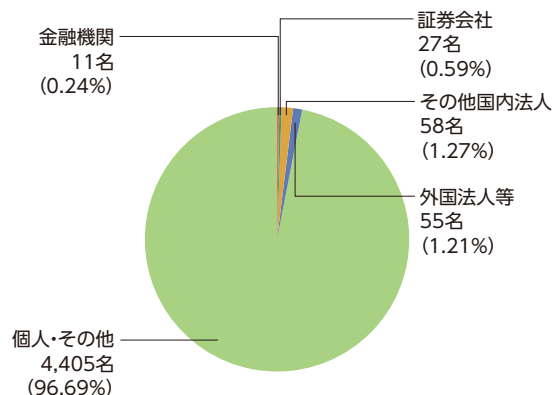
発行可能株式総数	15,000,000株
発行済株式の総数	6,865,360株
株主数	5,056名

大株主

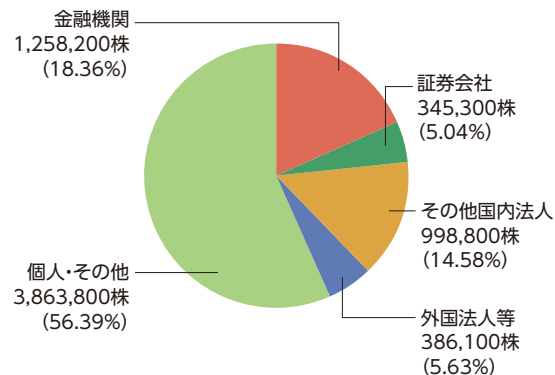
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	588,500	8.6
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	577,100	8.4
有限会社エノモト興産	480,260	7.0
有限会社エムエヌ企画	320,328	4.7
株式会社SBI証券	158,678	2.3
榎本寿子	128,104	1.8
櫻井妙子	114,660	1.6
櫻井宣男	93,660	1.3
吉田知広	91,700	1.3
榎本貴信	89,600	1.3

(注) 持株比率は自己株式(58,290株)を控除して計算しております。

所有者別単元株主数比率



所有者別単元株式数比率



■会社概要 (2023年9月30日現在)

社名	株式会社エノモト
本社	山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111
創業	1962年7月1日
資本金	4,749,333千円
従業員数	520名
事業内容	各種電子部品用プレス加工品及び 射出成形加工品の製造販売
子会社	ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

■役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長	武内延公	上席執行役員	磯部千春
代表取締役専務	白鳥誉	執行役員	中村隆
取締役	櫻井宣男	執行役員	佐藤裕光
取締役	久嶋光博	執行役員	武井勉
取締役	小川秀雄	執行役員	馬場一也
常勤監査等委員(社外)	加藤正		
監査等委員(社外)	八巻佐知子		
監査等委員(社外)	氏家美千代		
監査等委員(社外)	武藤比良志		

■国内拠点

本社	〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554(62)5111 FAX 0554(63)4193
営業部	〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554(62)5112 FAX 0554(62)4319
本社工場	〒404-0036 山梨県甲州市塩山熊野666番地 TEL 0553(32)1111 FAX 0553(32)1159 〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554(62)5115 FAX 0554(62)4089
津軽工場	〒037-0017 青森県五所川原市大字漆川字玉椿191番地1 TEL 0173(33)0570 FAX 0173(34)5206
岩手工場	〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39番地 TEL 0193(42)8511 FAX 0193(42)8513

■海外拠点

エノモトフィリピンマニュファクチュアリング インコーポレーテッド ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.
益能達 (香港) 精密有限公司 ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd.
中山益能達精密電子有限公司 ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

ホームページのご案内

<https://www.enomoto.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。



国立大学法人山梨大学、スズキ株式会社との共著論文を発表

当社は固体高分子形燃料電池向けガス拡散層（以下、「GDL」）一体型金属セパレータの研究開発を従前より手掛けております。

この度、国立大学法人山梨大学（所在地：山梨県甲府市）及びスズキ株式会社（本社：静岡県浜松市）との共同研究の成果として当社も共著の論文が、国際的な学術・技術専門誌「Journal of Power Sources」（ELSEVIER社）オープンアクセス版に掲載されました。三者による共著論文発表は2022年11月9日に続き今回が2回目となります。

論文タイトル

『Analysis of performance stability under conditions of high & low humidity of polymer electrolyte fuel cells with interdigitated gas flow channels formed on a gas diffusion layer: An X-ray imaging and modeling study（対向櫛歯状ガス流路を形成させたGDLを有する固体高分子形燃料電池の高湿度・低湿度条件下での性能安定性の解析：X線イメージングとモデリングによる検討）』

筆頭著者

スズキ株式会社 井上達也様

責任著者

山梨大学 内田誠教授

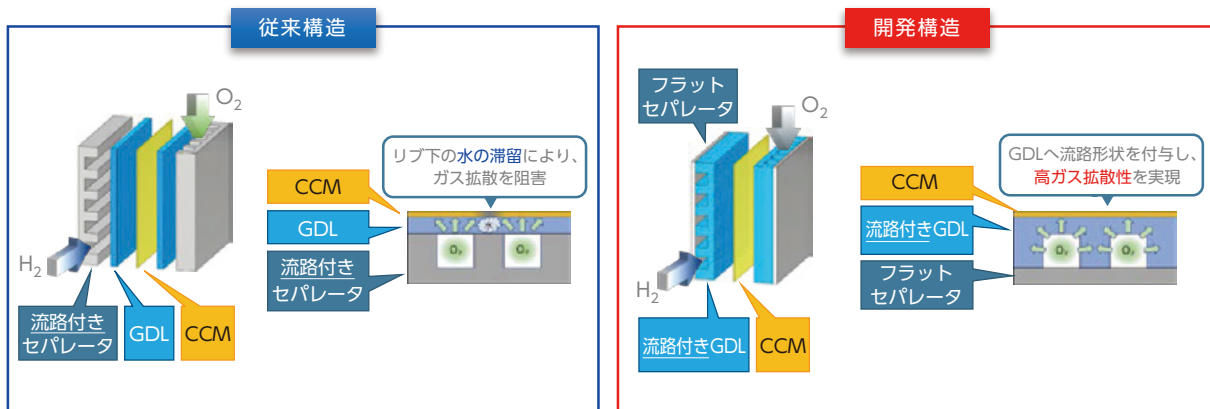
論文概要

- ・対向櫛歯状流路をガス拡散層表面に形成した燃料電池は、従来の対向櫛歯状流路をセパレータ表面に形成した燃料電池と比べて、高い性能安定性を示しました。
- ・X線イメージングにより、ガス拡散層の内部における液水の分布と挙動が明らかになりました。
- ・数値シミュレーションにより、ガス拡散層内の温度分布及びガスの流れが明らかになりました。
- ・解析結果から、ガス拡散層に含まれる多孔質状のリブが、セル内部の温度、ガス流れ、液水分布を制御することで、性能安定性を向上させることがわかりました。

当社は今回共著論文を発表したスズキ株式会社の他にも複数のB to C企業と秘密保持契約を締結し研究開発を進めております。

研究開発中の燃料電池部品はメインターゲットとしている燃料電池車（FCV）向けに2030年度での実用化を目指しております。今後も高性能かつ低コストな燃料電池部品の研究開発に取り組み、一日も早い事業化と水素社会の実現を目指して参ります。

燃料電池部品 セパレータの構造



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。https://www.link-cc.co.jp
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6928

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝 (QUOカードPay500円) を進呈させていただきます

ENOMOTO Co., Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

